

進むパートナーシップ

BSサミットは選ばれる団体を目指して



2020年4月の特定整備制度施行により規定された電子制御装置整備においては、診断機によって行える作業が異なり、自動車メーカー毎に異なったターゲットが必要となります。さらに、最近では純正診断機でなくては行えない作業も増えてきている状況です。また、エミシングの前提条件としてボディアライメントやホイールアライメントが正常であることが求められることを鑑みると、損傷範囲の大きいASVの車体整備を行うためにはそれなりの設備を有している必要性もあると言えます。

一方で、ADASの進化により年々事故は減少を続けることを踏まえると、ASVの整備や修理を行うにあたり全てを自社で対応することは経済合理性から考えても無駄が多く、現実的ではないことが分かります。こういった状況の中、自動車アフターマーケット業界において最近目にするのが企業・団体のパートナーシップに関するニュースです。その先駆けとなったのが、2020年8月に締結されたBSサミット事業協同組合と株式会社オートバックスセブンによる包括的業務提携であります。提携から2年、全国各地で様々な形の連携がスタートしています。

BSサミットとオートバックスセブンの提携に関しては、長年に地域のオートバックス関係者をお招きすること、地域ごとの交流も図っています。当初は電子制御装置整備の部分での連携を思い描いておりましたが、実際に膝をつき合せて情報交換を進めていくと地域ごとに抱えている課題は千差万別であることが分かりました。

例えば、東京、千葉、福岡など都市部のエリアで進んでいる連携はロードサービス(車検・サービス・C@RS担当)兼BACS B A S E推進プロジェクトマネージャーが担当となり、毎月定期的な情報交流を行なっています。また、都市部、地方部、山間部など地域によって抱える問題が異なることから、BSサミットのブロック大会や支部社

例えは、東京、千葉、福岡など都市部のエリアで進んでいる連携はロードサービス(車検・サービス・C@RS担当)兼BACS B A S E推進プロジェクトマネージャーが担当となり、毎月定期的な情報交流を行なっています。また、都市部、地方部、山間部など地域によって抱える問題が異なることから、BSサミットのブロック大会や支部社

例えば、東京、千葉、福岡など都市部のエリアで進んでいる連携はロードサービス(車検・サービス・C@RS担当)兼BACS B A S E推進プロジェクトマネージャーが担当となり、毎月定期的な情報交流を行なっています。また、都市部、地方部、山間部など地域によって抱える問題が異なることから、BSサミットのブロック大会や支部社

BSサミットは、選ばれる団体を目指して

令和3年8月に国土交通省自動車局から発表された「令和4年度自動車局関係予算概算要求概要」の主要施策別説明資料、持続可能な自動車運送事業・整備業の確立に向けたデジタルトランスフォーメーション(DX)や働き方改革等の推進の5項目「自動車整備業の生産性向上と事業基盤強化」において、

●自動車整備業は、新技術への対応、人材の不足等の課題に直面しており、事業継続が困難な事業者が増加すれば、自動車整備工場のネットワークが失われ、「自動車整備業

BSサミットは、選ばれる団体を目指して

令和3年8月に国土交通省自動車局から発表された「令和4年度自動車局関係予算概算要求概要」の主要施策別説明資料、持続可能な自動車運送事業・整備業の確立に向けたデジタルトランスフォーメーション(DX)や働き方改革等の推進の5項目「自動車整備業の生産性向上と事業基盤強化」において、

●自動車整備業は、新技術への対応、人材の不足等の課題に直面しており、事業継続が困難な事業者が増加すれば、自動車整備工場のネットワークが失われ、「自動車整備業

BSサミットとオートバックスセブンの提携に関しては、長年に地域のオートバックス関係者をお招きすること、地域ごとの交流も図っています。当初は電子制御装置整備の部分での連携を思い描いておりましたが、実際に膝をつき合せて情報交換を進めていくと地域ごとに抱えている課題は千差万別であることが分かりました。

例えば、東京、千葉、福岡など都市部のエリアで進んでいる連携はロードサービス(車検・サービス・C@RS担当)兼BACS B A S E推進プロジェクトマネージャーが担当となり、毎月定期的な情報交流を行なっています。また、都市部、地方部、山間部など地域によって抱える問題が異なることから、BSサミットのブロック大会や支部社

BSサミットとオートバックスセブンの提携に関しては、長年に地域のオートバックス関係者をお招きすること、地域ごとの交流も図っています。当初は電子制御装置整備の部分での連携を思い描いておりましたが、実際に膝をつき合せて情報交換を進めていくと地域ごとに抱えている課題は千差万別であることが分かりました。

例えば、東京、千葉、福岡など都市部のエリアで進んでいる連携はロードサービス(車検・サービス・C@RS担当)兼BACS B A S E推進プロジェクトマネージャーが担当となり、毎月定期的な情報交流を行なっています。また、都市部、地方部、山間部など地域によって抱える問題が異なることから、BSサミットのブロック大会や支部社

BSサミットとオートバックスセブンの提携に関しては、長年に地域のオートバックス関係者をお招きすること、地域ごとの交流も図っています。当初は電子制御装置整備の部分での連携を思い描いておりましたが、実際に膝をつき合せて情報交換を進めていくと地域ごとに抱えている課題は千差万別であることが分かりました。

例えば、東京、千葉、福岡など都市部のエリアで進んでいる連携はロードサービス(車検・サービス・C@RS担当)兼BACS B A S E推進プロジェクトマネージャーが担当となり、毎月定期的な情報交流を行なっています。また、都市部、地方部、山間部など地域によって抱える問題が異なることから、BSサミットのブロック大会や支部社

BSサミットとオートバックスセブンの提携に関しては、長年に地域のオートバックス関係者をお招きすること、地域ごとの交流も図っています。当初は電子制御装置整備の部分での連携を思い描いておりましたが、実際に膝をつき合せて情報交換を進めていくと地域ごとに抱えている課題は千差万別であることが分かりました。

例えば、東京、千葉、福岡など都市部のエリアで進んでいる連携はロードサービス(車検・サービス・C@RS担当)兼BACS B A S E推進プロジェクトマネージャーが担当となり、毎月定期的な情報交流を行なっています。また、都市部、地方部、山間部など地域によって抱える問題が異なることから、BSサミットのブロック大会や支部社

BSサミットとオートバックスセブンの提携に関しては、長年に地域のオートバックス関係者をお招きすること、地域ごとの交流も図っています。当初は電子制御装置整備の部分での連携を思い描いておりましたが、実際に膝をつき合せて情報交換を進めていくと地域ごとに抱えている課題は千差万別であることが分かりました。

例えば、東京、千葉、福岡など都市部のエリアで進んでいる連携はロードサービス(車検・サービス・C@RS担当)兼BACS B A S E推進プロジェクトマネージャーが担当となり、毎月定期的な情報交流を行なっています。また、都市部、地方部、山間部など地域によって抱える問題が異なることから、BSサミットのブロック大会や支部社

BSサミットとオートバックスセブンの提携に関しては、長年に地域のオートバックス関係者をお招きすること、地域ごとの交流も図っています。当初は電子制御装置整備の部分での連携を思い描いておりましたが、実際に膝をつき合せて情報交換を進めていくと地域ごとに抱えている課題は千差万別であることが分かりました。

例えば、東京、千葉、福岡など都市部のエリアで進んでいる連携はロードサービス(車検・サービス・C@RS担当)兼BACS B A S E推進プロジェクトマネージャーが担当となり、毎月定期的な情報交流を行なっています。また、都市部、地方部、山間部など地域によって抱える問題が異なることから、BSサミットのブロック大会や支部社

BSサミットとオートバックスセブンの提携に関しては、長年に地域のオートバックス関係者をお招きすること、地域ごとの交流も図っています。当初は電子制御装置整備の部分での連携を思い描いておりましたが、実際に膝をつき合せて情報交換を進めていくと地域ごとに抱えている課題は千差万別であることが分かりました。

例えば、東京、千葉、福岡など都市部のエリアで進んでいる連携はロードサービス(車検・サービス・C@RS担当)兼BACS B A S E推進プロジェクトマネージャーが担当となり、毎月定期的な情報交流を行なっています。また、都市部、地方部、山間部など地域によって抱える問題が異なることから、BSサミットのブロック大会や支部社

BSサミットとオートバックスセブンの提携に関しては、長年に地域のオートバックス関係者をお招きすること、地域ごとの交流も図っています。当初は電子制御装置整備の部分での連携を思い描いておりましたが、実際に膝をつき合せて情報交換を進めていくと地域ごとに抱えている課題は千差万別であることが分かりました。

例えば、東京、千葉、福岡など都市部のエリアで進んでいる連携はロードサービス(車検・サービス・C@RS担当)兼BACS B A S E推進プロジェクトマネージャーが担当となり、毎月定期的な情報交流を行なっています。また、都市部、地方部、山間部など地域によって抱える問題が異なることから、BSサミットのブロック大会や支部社

BSサミットとオートバックスセブンの提携に関しては、長年に地域のオートバックス関係者をお招きすること、地域ごとの交流も図っています。当初は電子制御装置整備の部分での連携を思い描いておりましたが、実際に膝をつき合せて情報交換を進めていくと地域ごとに抱えている課題は千差万別であることが分かりました。

例えば、東京、千葉、福岡など都市部のエリアで進んでいる連携はロードサービス(車検・サービス・C@RS担当)兼BACS B A S E推進プロジェクトマネージャーが担当となり、毎月定期的な情報交流を行なっています。また、都市部、地方部、山間部など地域によって抱える問題が異なることから、BSサミットのブロック大会や支部社

BSサミットとオートバックスセブンの提携に関しては、長年に地域のオートバックス関係者をお招きすること、地域ごとの交流も図っています。当初は電子制御装置整備の部分での連携を思い描いておりましたが、実際に膝をつき合せて情報交換を進めていくと地域ごとに抱えている課題は千差万別であることが分かりました。

例えば、東京、千葉、福岡など都市部のエリアで進んでいる連携はロードサービス(車検・サービス・C@RS担当)兼BACS B A S E推進プロジェクトマネージャーが担当となり、毎月定期的な情報交流を行なっています。また、都市部、地方部、山間部など地域によって抱える問題が異なることから、BSサミットのブロック大会や支部社

BSサミットとオートバックスセブンの提携に関しては、長年に地域のオートバックス関係者をお招きすること、地域ごとの交流も図っています。当初は電子制御装置整備の部分での連携を思い描いておりましたが、実際に膝をつき合せて情報交換を進めていくと地域ごとに抱えている課題は千差万別であることが分かりました。

例えば、東京、千葉、福岡など都市部のエリアで進んでいる連携はロードサービス(車検・サービス・C@RS担当)兼BACS B A S E推進プロジェクトマネージャーが担当となり、毎月定期的な情報交流を行なっています。また、都市部、地方部、山間部など地域によって抱える問題が異なることから、BSサミットのブロック大会や支部社

BSサミットとオートバックスセブンの提携に関しては、長年に地域のオートバックス関係者をお招きすること、地域ごとの交流も図っています。当初は電子制御装置整備の部分での連携を思い描いておりましたが、実際に膝をつき合せて情報交換を進めていくと地域ごとに抱えている課題は千差万別であることが分かりました。

例えば、東京、千葉、福岡など都市部のエリアで進んでいる連携はロードサービス(車検・サービス・C@RS担当)兼BACS B A S E推進プロジェクトマネージャーが担当となり、毎月定期的な情報交流を行なっています。また、都市部、地方部、山間部など地域によって抱える問題が異なることから、BSサミットのブロック大会や支部社

クラウド型自動車钣金業務支援システム



らくらく導入、かんたん操作

『日常業務の効率化』をサポート!



钣金伝票発行



3D 部位部品選択



钣金工程管理

いつでも、どこでも システムを使いたい!

と思ったことはありませんか?

ブロードリーフのクラウドは

すぐに使えて、場所、端末に依存しない、

新しい働き方を実現します。

必要な機能を必要な分だけ導入可能、

組み合わせは自由自在です。

詳細はQRコードを読み込んでください



株式会社ブロードリーフ



全国各地でブロック大会を開催

BSサミット事業協同組合 中部ブロック大会



東北ブロック大会の様子



四国ブロック大会の様子

新型コロナウイルス感染症の影響で一昨年は開催を見合わせ、昨年も東北と四国で組合員メンバーのみ参加という縮小した形での開催となったブロック大会。本年は全ブロックで開催（関東甲信越ブロックのみ3月開催予定）となりました。なかでも中部、及び近畿ブロックにおきましては細心の注意を払いつつコロナ前のように来賓、ゲストを招いての開催を決定いたしました。

2023年BSサミット事業協同組合ブロック大会は、
10月19日(水)・九州ブロック大会(会場：博多アーパンスクエア)
10月21日(金)・北海道ブロック大会(会場：ジャスマックプラザホテル)
11月10日(木)・東北ブロック大会(会場：秋保温泉 ホテルニュー水戸屋)
11月11日(金)・首都圏ブロック大会(会場：A.P.東京八重洲)
11月17日(木)・四国ブロック大会(会場：高松国際ホテル)
11月18日(金)・中国ブロック大会(会場：ワークピア広島)
これらブロック大会では、コロナ前のように来賓、ゲストを招いての開催となりました。

特に、北海道ブロック大会で締めくくられた北海道第三支部有限会社田中自動車工業の田中社長は、「今日の会議で市成ブロック長が『本気で取り組みましょう！』とおっしゃっていたので、本気の話をして頂きます。当社は前体制だと、あと3ヶ月で潰れ

るような会社でした。しかし、本気になり会社を運営したことで皆さんからも多くの応援を頂き、まだですが8月で4年目を迎えることができました。私のことはさておき、このBSサミットで一番本気なのは誰か？それは、機部理事長です。石井副理事長もおっしゃっていました。命をかけてやっているのですから、BSサミットメンバーとして皆さんも本気で取り組みませんか？」と熱い檄を飛ばし、組合員工場が一丸となり、100年に一度の変革期に望む意気込みを語りました。

中部及び近畿のブロック大会に出席した機部理事長は挨拶の際に、特定整備認定の取得率、そして法改正に対応したコンプライアンスについて具体的な情報提供をされました。

その中で「2024年4月1日以降に特定整備未認定の場合どうなってしまうかについて、76%のディーラーは電子制御装置整備認定の工場には仕事も出さないとデータ上でいる」と具体例を挙げて注意喚起しました。またエーミングが必要な自動車が増えていることを例に挙げ、BSサミット組合員基準では、ワンストップサ

ービスの実現、それに伴う生産性の向上、納期短縮を目標とする。また、電気自動車への対応について、最優先で研修の準備を進めていく旨に言及され、ZKFやAIRCで情報交換を行い最先端の情報を集めていると説明されました。そして、自動運行装置を備えた車の整備、修理を行えるようになるための認定を取得するための準備を行っていることに触れられました。

最後に保険会社の皆様に向けて、原材料の高騰が続く中で組合員工場各社の価格交渉の場を設けていたとお願いを致しました。これは平成6年10月24日に公正取引委員会から警告がでていることを根拠に見直しを図って頂くよう強く要請しました。

2023年BSサミット事業協同組合ブロック大会は、
10月19日(水)・九州ブロック大会(会場：博多アーパンスクエア)
10月21日(金)・北海道ブロック大会(会場：ジャスマックプラザホテル)
11月10日(木)・東北ブロック大会(会場：秋保温泉 ホテルニュー水戸屋)
11月11日(金)・首都圏ブロック大会(会場：A.P.東京八重洲)
11月17日(木)・四国ブロック大会(会場：高松国際ホテル)
11月18日(金)・中国ブロック大会(会場：ワークピア広島)
これらブロック大会では、コロナ前のように来賓、ゲストを招いての開催となりました。

を招いての開催とはなりませんでしたが、組合員メンバーが一堂に集り、モチベーションを追求する。場として、また組合員メンバー同士が互いの近況について情報交換を行う場として有意義な時間となりました。

一方、3年振りに来賓、ゲストの方々を迎え入れてブロック大会を開催したのが、中部ブロックと近畿ブロックでした。中部ブロック大会は11月16日(水)、愛知県名古屋市の「名古屋マリオットアソシアホテル」にて開催。過去最大の240名を超える参加者で、多くの来賓、ゲストの方々にお集まり頂きました。そして近畿ブロック大会は11月21日(月)、大阪府大阪市「シェラトン都ホテル」にて開催され、こちらも200名以上の参加者で、盛況裏に終わることができました。

足田中部ブロック担当理事からは「組合員工場各社は安心、安堵」の言葉を述べ、増田近畿ブロック担当理事からは「原材料の高騰が業を頂戴致しました。指すためエーミング作業を自社で行うように定めていると説明されました。

また、電気自動車への対応について、最優先で研修の準備を進めていく旨に言及され、ZKFやAIRCで情報交換を行い最先端の情報を集めていると説明されました。そして、自動運行装置を備えた車の整備、修理を行えるようになるための認定を取得するための準備を行っていることに触れられました。

また、電気自動車への対応について、最優先で研修の準備を進めていく旨に言及され、ZKFやAIRCで情報交換を行い最先端の情報を集めていると説明されました。そして、自動運行装置を備えた車の整備、修理を行えるようになるための認定を取得するための準備を行っていることに触れられました。



北海道ブロック大会 市成ブロック長

全、高品質な車体整備のために、工場の設備投資や従業員への教育に多大な費用と時間を要しており、材料費やレバレッジでは立ち行かなくなっております。組合員工場各社との価格交渉の場を設けて頂くようお願い致します」と、高品質な車体整備を継続するためには必要の対価についてお願いがありました。

また中部ブロック大会の懇親会には、安全な自動車の車体を確保する議員連盟から、公明党衆議院議員 伊藤渉先生と自由民主党参議院議員 赤池誠章先生が、近畿ブロック大会には佐藤ゆかり先生にお越し頂き、ご挨拶の言葉を頂戴致しました。

また中部ブロック大会の懇親会には、安全な自動車の車体を確保する議員連盟から、公明党衆議院議員 伊藤渉先生と自由民主党参議院議員 赤池誠章先生が、近畿ブロック大会には佐藤ゆかり先生にお越し頂き、ご挨拶の言葉を頂戴致しました。

また中部ブロック大会の懇親会には、安全な自動車の車体を確保する議員連盟から、公明党衆議院議員 伊藤渉先生と自由民主党参議院議員 赤池誠章先生が、近畿ブロック大会には佐藤ゆかり先生にお越し頂き、ご挨拶の言葉を頂戴致しました。

ブロック大会に 組合員メンバーが集結



首都圏ブロック大会の様子

(左) 中部ブロック 足田担当理事
(右) 近畿ブロック 増田副理事長(左) 赤池誠章参議院議員
(右) 伊藤渉衆議院議員BSサミット顧問
自由民主党 佐藤ゆかり先生

問1 次の空欄を埋めて式を完成させよ。

$$\text{CO}_2\text{の少ない移動} = \boxed{\text{スマス}} \times \boxed{\text{パートナー}} \times \boxed{\text{モビリティ}}$$

サステナブルな社会。それはお客さま、
パートナーとともに描く未来です。

<http://www.e-b-e.co.jp/>

オートアフターマーケット連絡協議会

新会員も加わり、より活発な情報交流・連携創出の場へ

2022年度10月定例会開催

10月24日(月)、海軍センタービル(東京都千代田区麹町4-15)4階401・402会議室にて「オートアフターマーケット連絡協議会」の2022年度10月定例会および定例会が開催されました。

同協議会は、自動車アフターマーケットに関する幅広い事業者の情報交流の場を創出し、それぞれのビジネスの拡大や発展に向けた議論を行い、自動車ユーザーの便益拡大に寄与する活動を通じて社会に貢献することを目的に、2012年に発足。現在はBSサミット事業協同組合、全日本ロータス同友会、株式会社オートバックスセブンを始めとする、自動車アフターマーケットの各業界

各団体・企業からの情報発信に透ける
激変する自動車アフターマーケット活性化への思い



代表理事として挨拶する藤野副理事長

理事会後に行われた定例会の冒頭では、同協議会の代表理事である藤野副理事長が「皆さんそれぞれに色々な情報を持っていらっしゃると思います。毎回お伝えしているのですが、今日のこの会議に参加して何か一つ良い話が聞けたらと思うて頂ければ幸いです。活発な意見や質問をよろしくお願い致します」と挨拶。その上でEVに絡む話題としてフロリダでの台風被害の後に、EVが自然発火する事例が多かったというところを挙げ「中古車を扱っている方も多いですが、嫌な話として、EV車が増える中で水害が起きた場合、ものすごい勢いで燃えてしまふ。フロリダの消防局がEVメーカ

団体など16社が会員として名を連ねています。今回から既に入会が承認されていた「ディーラープロデュースアンドコミュニティ株式会社」が参加し、会員数は17社となりました。なお、今回の理事会では、協議事項として次年度以降の会費変更に伴う修正予算案の件や「いいクルマアワード2023」についての概要報告(※詳細は下段参照)、新規会員候補の進捗、来年3月開催予定の第23回国際オートアフターマーケットEXPO2023(IAAE2023)内でのセミナー「オートアフターマーケットサミット2023」の各理事の登壇についてなどが話し合われました。

「ディーラープロデュースアンドコミュニティ株式会社」森田代表取締役より同社の事業説明が行われた。



新規会員の「ディーラープロデュースアンドコミュニティ株式会社」森田代表取締役より同社の事業説明が行われた。

「ディーラープロデュース」を展開する株式会社西自動車商会の飯塚勝経管理室部長からは、リース販売の現状と新たな特約として「高齢者特約」の内容が伝えられ、藤野代表理事も「非常に興味深い。次回以降また進捗や動きを教えてください」と関心を示し、業界内でも絶えず変化が起こっていることが如実に感じられる時間となりました。

定例会では、新規会員の事業紹介として、ディーラープロデュースの森田一史代表取締役より、エコカーマーケットを中心とする同社の事業説明が行われたほか、同協議会が今年度推進するプロジェクトの進捗についての説明や各会員から最新状況と動向の共有がなされました。特に最新状況と動向の共有部分には時間が割かれ、有意義な情報交換が行われました。



オンラインを併用しながらも、リアル参加が多く、休憩時間などには各所で名刺交換や情報交流が活発に行われていた



クルマ屋さんが選ぶ「いいクルマアワード2023」投票開始!

今年で7回目の開催となる「クルマ屋さんが選ぶ いいクルマアワード2023」の投票が、12月1日(木)から開始されました。

BSサミットも加盟するオートアフターマーケット連絡協議会が主催する同アワードは、自動車製造(メーカー)の視点ではなく、整備や修理、钣金塗装、用品部品販売、新車・中古車の販売および買取、ロードサービス、ガソリンスタンド、カーディティリング、保険などに携わる自動車アフターマーケット事業者たちが、WEB上でのアンケート投票で、本当に「いいクルマ」を選び、表彰するものです。

アワードは「コスパ部門」「トラブルレス部門」「リセールバリュー部門」の3部門で構成され、インターネット上のアンケート投票で最多票を獲得したクルマが大賞として、投票数だけでなく総合的な視点により選考委員会で選出されたクルマが特別賞として表彰されます。

アフターマーケットのプロ達から、日頃の作業や販売などを通じて感じる各車のメリットが結果に反映されるため、一般ユーザーにとっても有益な情報が詰まったアワードとなっています。この機会にぜひご投票ください。

<実施概要>

イベント名: クルマ屋さんが選ぶいいクルマアワード2023
投票期間: 2022年12月1日(木)~2023年1月31日(火)
投票URL: <https://gc-award.jp> (オートアフターマーケット連絡協議会HP内)

部門: コスパ部門・トラブルレス部門・リセールバリュー部門

表彰: 大賞(各部門の合計ポイントで最多ポイントを獲得したクルマ)

特別賞(選考委員会にてポイント数とこれまでの経緯、変化量などを見て選出)

表彰式・発表: オートアフターマーケット連絡協議会HPにて 他

<問い合わせ>
オートアフターマーケット連絡協議会 事務局
(株式会社ジェイシーレゾナンス内)

E-mail: info@autoaftermarket.jp

Tel: 03-5422-9446

<http://www.autoaftermarket.jp/>



昨年度は、5年連続で「トヨタ・プリウス」が大賞を受賞。「価格の割に良いクルマ」「トラブルの少ないクルマ」において1位を獲得、「リセールバリューの高いクルマ」についても3位以内の入賞と根強い支持となりました。また、特別賞の「スズキ・ジムニー」はアフターパーツが充実しているなど趣味車として楽しめる一方、自動ブレーキやスタビリティコントロールなど最新のADASを装備しているなどが高く評価されての受賞となりました。



Science. Applied to Life.™

3M® パフォーマンススプレーガン

さらなる塗装の進化を
その手で体感。



交換可能なノズルと3M™ PPS™ シリーズ2.0
塗装用カップシステムとの組み合わせでより洗練
された塗装システムをご提案します。



業界最軽量クラス
洗浄時間の短縮
精密な塗装性能
サイクルタイムの改善

スリーエム ジャパン株式会社
オート・アフターマーケット製品事業部

カスタマー
コールセンター

お問い合わせはナビダイヤルで
0570-011-211

3M, PPSは、3M社の商標です。

WINDSHIELD for ADAS

優良品 ブレーキアシストシステム用フロントガラス



安全

純正品と
同等の機能!

安心

ブラケット付きで
交換作業がスムーズ!

安定

安定品質の
ガラスメーカー



自動車用ガラスの幅広い品揃え



自動車部品協会
RECOMMENDED PARTS



UNDER BODY SEAL



国産・輸入車ディーラー取扱いの
ウルト製アンダーボディーシール

優れた防錆力と定着性を持ち、
乾燥後も摩耗に強く弾力性を保ちます

飛び石、跳ね水、塩害、摩耗に
対する耐性が向上し長持ちします

優れた吸音・防振効果も発揮します

UBSアンダーボディーシール エクストラ(黒)

UBSワックススーパードライ200(透明)

ウルトのアンダー
ボディーシールで
下回り防錆対策!

ウルトジャパン株式会社 | 045-488-4186 | support@wurth.co.jp



"明日をひらく" デンゲンの技術



全自動フロンガス回収機
CS-YF134WS(2タンク型)



各種バッテリー完全対応充電器
BR-MAX70IS



D.Cインバータースポット溶接機
SW-VZ120

第14回

OTA (Over The Air) の解説と整備作業

BS TECHNICAL
最新自動車技術・事故車修理

OTAの基礎知識と可能性

近年、OTAという単語が自動車整備業界でもよく聞かれるようになりました。OTAとは「Over The Air」の接頭語で無線通信経路によるデータ送受信を意味する情報通信技術です。スマートフォンをはじめとするあらゆる通信デバイスにインストールされているOSやアプリケーションは、今や無線通信によってリアルタイムに更新されていますが、その技術がOTAです。近年はクルマにも様々なソフトウェアが実装されており、自ら通信を行うコネクテッドカーの登場とともに、OTA技術がクルマにも利用されることが多くなってきました。これがクルマのスマホ化と言われるゆえんです。

OTAはソフトウェアの更新により、プログラムの修正をタイムリーに行えるだけでなく、最新機能の追加などを適宜追加することで、ユーザーへの利便性はもちろんのこと、自動車メーカーや販売店にとっても新たなビジネスモデルとして、今後さらにその領域を広げていく可能性があります。



スマホのソフトウェア更新技術がクルマに採用されつつあります。

テスラが先行するOTA
国産メーカーも追随

OTAをクルマ業界に初めて持ち込んだのは米国のEVメーカー、テスラです。サブスクリプションの手法を用いたOTAの導入により、クルマ業界の新たなビジネスモデルとして注目を集め、大変革の潮流を作りました。テスラにおけるソフトウェアのアップデート項目は国や地域で異なりますが、日本では主にナビゲーションの地図更新をはじめ、ディスプレイのビジュアルの調整から、タイヤ空気圧のモニタリング、ブラインドスポットカメラの調整、障害物検知走行モードの制御変更といった技術的な要件にまで及びます。

国産メーカーで最も早くOTAを実装したのは2021年3月に発売された世界初の自動運転レベル3のホンダ・レジェンドです。トヨタは2021年4月に発売したミライとレクサスLSのアドバンスドドライブ機能を備えたグレードにOTA機能を搭載しました。日産は、2022年9月よりSUV初のEV、アリアにOTAによるソフトウェアアップデートの配信を実施しています。このように、国産車のOTAはまだ一部のクルマに留まっていますが、今後は様々な車種に拡大していくことが考えられ、展開のスピードは予想以上に早く広がっていくと思われます。



日産はアリアを対象に2022年9月よりOTAを導入。

国産車のOTA更新事例
トヨタ・ミライのケース

OTAによる国産車のアップデートは、それほど頻繁ではありません。現在のところトヨタ・ミライの場合、発売から1年半で4回。日産・アリアは1か月間で2回の更新を実施しています。

トヨタ・ミライのソフトウェア更新状況

更新日	主な性能変更内容
2021.7.28	① 高速道路本線へ合流後、Advanced Driveが使用可能となるまでの時間を短縮 ② 車線変更支援を提供できる場面を追加 ③ 自車前方の割り込み車両のウinker検知時の減速フィーリングの変更
2021.11.9	① 追越車線走行中に並走車両との側方間隔を確保する場面を拡大 ② 合流レーン付近など車線変更支援を使用できる場面を拡大 ③ Advanced Driveに関するグラフィック表示を一部変更 ④ 都市高速などの一部区間における速度制限を緩和 ⑤ 設定速度の上限を125km/hに変更 ※更新目安時間 1.5 時間
2022.3.2	緊急ブレーキが作動可能となる場面を拡大 ※更新目安時間 0.5 時間
2022.5.9	① 割り込み車両検知の際、運転操作をうながす場面を追加 ② 合流車両に道をゆずる条件を変更 ※更新目安時間 1 時間

OTAのECU交換時は
リプロとバージョン確認

OTAによるソフトウェアの更新は、まず車載EthernetでDCMに接続し、リプロソフト配信センターと無線通信を行い、アップデートされる仕組みです。上記の通り、トヨタはアドバンスドドライブ機能がOTAによって更新されます。アドバンスドドライブに関わるECU、LiDARセンサーの整備、交換作業においては有線によるソフトウェア更新（有線リプロ）と各ユニットのバージョン整合チェックが必須となります。

有線リプロを行う際は、各システムや電動ファンが作動すると、電圧の低下や変動を招くことになり、ECUを破損させてしまうおそれがあります。このため、作業前には補機バッテリー電圧点検を行い、規定電圧の確認を実施します。なお、ECUの交換においては、トヨタが定めるECUセキュリティキーの更新も不可欠です。OTAの登場により、自動車整備は更に高度化が進んでいます。

トヨタ・アドバンスドドライブ 作業サポート実施項目

- ・補機バッテリーの電圧チェック
- ・有線によるソフトウェア更新（有線リプロ）
- ・ソフトウェアのバージョン整合チェック
- ・ECUセキュリティキー更新

BSサミット事業協同組合

冬季クレジット&
オートリースキャンペーン

【キャンペーン期間】2022年12月1日～2023年1月31日

期間中、BSクレジット・オートリースを5万円以上ご利用いただいた方全員に

「やさしいごちそう」3,000円相当をプレゼント!



「やさしいごちそう」は地域の名産品や人気スイーツまで自由に選べるチョイスグルメギフトです。

【主催】



【協賛】



この機会にぜひBSクレジット・オートリースをご利用ください

月別リサイクルパーツ別実績 2022年9月～2022年10月(全国)

※その他「エンジン・ミッション・ラジエーター・コンデ
ンサー・コンプレッサー・フロントガラス等のリサイク
ルパーツ(新品パーツは除く)」

内 訳	2022年		合 計
	9月	10月	
	数 量	数 量	数 量
フロントバンパー	366	437	803
リアバンパー	223	250	473
ヘッドライト	474	495	969
ボンネット	159	170	329
フェンダー	343	420	763
ドア	555	609	1,164
トランクリッド・リアゲート	182	149	331
テールランプ	314	345	659
その他※	2,493	2,552	5,045
合計	5,109	5,427	10,536

BSサミット
販売促進委員会

リサイクルパーツ普及拡大に向けて リユース部品活用による「環境貢献証明書」の提供サービスを開始

事故車修理時のコスト低減は、損害保険会社やユーザーにとっても、ますますニーズが高まっております。BSサミットでは、環境負荷低減とともに、こうしたコスト削減に寄与することを目的として、販売促進委員会を中心とし、自動車補修部品のリサイクル促進を進めています。今後とも積極的なリサイクルパーツの活用をよろしくお願いいたします。

BSサミット協賛会社のひとつNGP日本自動車リサイクル事業協同組合は、自動車修理するお客様に対し、リユース部品活用をカーボンニュートラル・SDGsへの取り組みとして提案し、それによって得られたCO₂削減量を数値化することで環境貢献度として見える化した「環境貢献証明書」を提供するサービスを開始しました。同社は、カーボンニュートラル・SDGsの意識が高まっている世の中で環境を意識した事業運営は、他社との差別化に向けたPR、事業活動に貢献できると考えています。

ストップ！ 粗悪修理！！

「ストップ粗悪修理」は、次世代自動車研究委員会や広報委員会を中心に収集している他社工場での粗悪修理情報を、BSサミットニュースやカーケアプラスなどのメディアを通じて公開しております。

不具合車両の撲滅とユーザーへ安心と安全を提供すべく、本来あってはならない修理不具合・不正修理の現状・実態を明らかにし、適切な修理を行うことの重要性を呼びかけております。今後とも主旨をご理解いただき「修理不具合情報」のご提供をよろしくお願いいたします。

不完全修理例① サスペンション取付け部が過去の事故で潰れたまま塗装されていた！

事故入庫した車両を確認したところ、ボンネット左側(助手席側)サスペンション取付け部が、前回の事故で潰れたままの状態。修正されずそのまま上から塗装のみ行われていた。

また、前側骨格パネル(ラジエーターコアサポートパネル)も損傷していたが、この部分はシーリング材が上から塗られ、修理されていない状態であった。



不完全修理例② 溶接不良(MIG溶接強度不足)で走行時にサスペンションメンバーが脱落！

過去の修理作業で溶接不良(MIG溶接強度不足)が原因で走行時にサスペンションメンバーが脱落した事例。



「カーボンニュートラル」「SDGs」
何から始めたらいいか、お困りではありませんか？

カーボンニュートラル・SDGs への 取組み支援サービス開始

リユース部品を利用した修理のCO₂削減量をご提供！



NGPグループ以外から購入したリユース部品でも算出できます。

自社の環境貢献をリユース部品を使ってお客様にPRしてみませんか。



人と車と地球にやさしく
自動車リサイクル事業を通して、
子どもたちと地球の未来を考えます。

2030年
目標

■ 使用済自動車約1,000万台から2,000万台以上の自動車リユース部品の生産と
廃棄物リサイクル率を向上し、50%以上のCO₂削減に貢献します。
■ 部品品質の向上と修理コストの削減(自動車修理の円滑化)を通じて、交通事故の減少
と社会の安全・安心に貢献します。



NGP 日本自動車リサイクル事業協同組合 / 株式会社 NGP
〒108-0074 東京都港区南青山 3-25-33 長谷ビル 2階 TEL:03-5475-1208



さらなるCS向上へ向けた
リサイクルパーツの提案。

リサイクルパーツ発注システム
Repairs Direct System
リパーツダイレクトシステム (RDS)

皆様が、安心して「リパーツダイレクトシステム」をご利用いただけるよう
「BSネットワークコールセンター」の専任スタッフが
お客様にご発注いただいたパーツの適合確認をさせていただきます
正確な部品発注をサポートしております。

自動車リサイクル部品のお問い合わせは

BSネットワークコールセンター

Tel.052-441-7503 (平日9:00~18:00) Fax.052-441-7628



私たちは自動車リサイクル部品の活用で
未来の地球を考えています。



株式会社ビッグウェーブ・株式会社JARAは提携し合い
常に最高品質の自動車リサイクル部品の生産と販売に取り組んでいます。

